

# 蕪山反射炉が近代化産業遺産に認定！



経済産業大臣から市長が認定プレートを受け取りました

経済産業省が、日本の近代化に重要な役割を果たした産業遺産を三十三のストーリーに分け、全国で四百五十箇所を認定しました。新たな魅力ある観光資源とし、地域活性化の『種』にしようというものの。

十一月三十日に、横浜赤レンガ倉庫で認定プレート授与式が行われ、市長が甘利経済産業大臣から認定証・認定プレートを受け取りました。テーマごとに複数の産業遺産を地域や産業発展の歴史を知るストーリーで結び、周遊コースとして活用していきます。認定プレートは(下)、蕪山反射炉内に設置される予定です。



## 「全国で優勝したい！」

蕪山ジュニアテニスクラブ、全国大会へ



確井代表(後列左)とともに、健闘を誓う選手たち

蕪山ジュニアテニスクラブの三ペアが、全国小学生ソフトテニス大会県予選で四位以内に入り、来年行われる全国大会への出場が決まりました。選手たちは、十一月二十九日に市長に出場報告をしました。

全国大会に出場するのは、五年女子の部に池谷さん・梅原さん組、四年以下男子の部に矢田さん・室伏さん組、四年以下女子の部に鈴木さん・遠藤さん組で、池谷・梅原組は、二年連続の出場となりました。市長は一人ひとりに声をかけ、「苦しいときは相手も同じように苦しい。強そうだなと思うときは、相手もそう思っている。気持ちで負けないように」と激励しました。

## 車いす利用者をサポートしてバス乗車体験



自然にサポートできる心を  
伊豆長岡駅でバリアフリー教室

十一月二十一日、交通バリアフリー教室を行いました。参加した蕪山南小五年生は、市社会福祉協議会職員による『車いすの使い方』などを受講した後、市役所や伊豆長岡駅で、アイマスクや高齢者疑似装置(腕や足が曲がりにくくなる器具やおもり)を着着して、バスや電車の乗降等を体験しました。切符の受け渡しや階段の上り下りなど、想像以上に苦労していました。

## 地元産のそばに長い列

浮橋そばの里まつり

十二月九日に浮橋のそばの里まつりが、新築したばかりの浮橋公民館前広場で行われ、地元産のそばを求めて多くの人が詰めかけました。



できたてのそばを多くの人が味わいました

## 十一人でたすきをつなぐ

市町村対抗駅伝、市の部十四位



ゴール後の伊豆の国市の代表選手たち

十二月一日に、静岡県市町村対抗駅伝競走大会が静岡市で開かれ、伊豆の国市は市の部で十四位でした。今年小学校女子の部が加わり、十一人でたすきをつなぎました。七月から練習を重ねた選手たちは、それぞれの力を発揮し、二時間二十三分二十六秒でゴールしました。沿道では、実行委員会事務局などが甲冑姿で応援。『早雲の如く疾れ!』という上り旗が目まぐるしく引いていました。

## 「利用ありがとうございます」

『めおと湯の館』入館百五十万人

市営温泉施設『めおと湯の館』は、十二月二日に延べ入館者百五十万人を達成し、記念セレモニーが行われ、節目の入館者に記念品と花

束を贈呈しました。百五十万人目の入館者となったのは、清水町の福島さんご夫妻。三、四年前から同館を利用しているとい



百五十万人目となった福島さんご夫妻

う二人は、「ここは湯が良く、のんびりできる場所で、二人で週に何回も来る。これから利用させてもらいたい」と笑顔で話しました。同館は、平成五年六月にオープンし、年間十万人ほどの人に利用していただいています。



実行委員などが、段ボール甲冑姿で応援